

Internet Explorer に関するサポートのお知らせ

マイクロソフト社は、マイクロソフト社ホームページにて「Internet Explorer サポートポリシー変更の重要なお知らせ」(2014年8月7日)をアナウンスし、この中で「2016年1月12日(米国時間)を過ぎると、使用しているオペレーティングシステムでサポートされる、最新バージョンの Internet Explorer だけが、技術サポートとセキュリティアップデートを受けられることとなります。」と記載しています。

マイクロソフト社がサポート対象とする Windows OS と Internet Explorer バージョンの組み合わせ(クライアント OS のみ抜粋)

お使いのWindows OS	Internet Explorer のバージョン
Windows Vista SP2	Internet Explorer 9
Windows 7 SP1	Internet Explorer 11
Windows 8.1 Update	Internet Explorer 11
Windows 8	Windows 8.1 へアップデートが必要です

電子入札システムにおいては、上記以外の Internet Explorer もご利用いただけますが、マイクロソフト社によるサポートが提供されなくなると、脆弱性や新たに発生する問題への対応は行えなくなりますので、お早めにマイクロソフト社がサポートを提供する OS 及び Internet Explorer へ移行することをお勧め致します。利用可能な OS 及び Internet Explorer の組み合わせについては、下記「電子入札システム OS・ブラウザのバージョン対応表」をご確認ください。なお、2016年1月7日現在、Windows10は、電子入札システムの動作保証対象となっておりませんので、電子入札システムをご利用になるパソコンについては Windows10 へのアップデートを行わないようご注意ください。

電子入札システム OS・ブラウザのバージョン対応表

OS	Internet Explorer のバージョン (※1) (※3)				
	7	8 (※4)	9 (※4)	10 (※4)	11 (※4)
Windows Vista Business/ Home Premium SP1、SP2 (32bit版)	○ (※5)	○ (※5)	○	×	×
Windows7 Professional/ Home Premium SPなし、SP1 (32bit版)	×	○ (※5)	○ (※5)	○ (※5)	○
Windows7 Professional/ Home Premium SP1 (64bit版)	×	○ (※5)	○ (※5)	○ (※5)	○
Windows8.1エディションなし、 Pro (32bit版/64bit版) (※2)	×	×	×	×	○

(※1) Internet Explorer は全て 32bit 版をご利用ください。

(※2) Windows8.1 の場合、デスクトップ版の Internet Explorer のみ対象となります。

(※3) 全てのバージョンの Internet Explorer で信頼済みサイトの設定が必要となります。

(※4) Internet Explorer 8、9、10、11 を利用する場合、互換表示設定が必要となります。

(※5) 灰色網掛け部分は、マイクロソフト社がサポート提供を終了するバージョンです。お早めにマイクロソフト社がサポートを提供するバージョンへ移行してください。

以上